

## 平成 19 年度倫理経営講演会、

法人局普及事業部首都圏方面副方面長

## 松丸 靖氏をお迎えし開く！

- 6 月 6 日午後 4 時から、山形グランドホテル「サンリヴァーの間」。



当日はあいにくの天候でもありながら、当会会員、他単会会員はじめ、一般の聴講者 250 名余りが来場され、ほぼ満席で開演されました。

佐藤靖之副会長の開会宣言、鈴木隆一会長挨拶のあと、「活力朝礼」実演に入り、鈴木重幸朝礼委員長指揮下に「朝礼実演班」が模範活力朝礼デモンストラーション。各会員企業からの選抜チームながら約 2 ヶ月間にわたり事前練習に取り組んだだけでも関わらず素晴らしい成果発表となり、出席者皆さんから、沢山の感動の拍手を頂きました。

引き続き、同委員長から当会会員を対象とした「朝

礼アンケート調査」結果が報告され、朝礼展開における会員企業内の問題点等が発表されました（詳細、別紙添付資料参照）。

午後 4 時半過ぎから、法人局普及事業部首都圏方面副方面長松丸靖氏の講演が始まり、テーマ「日本創生の心、-であい-」について約 1 時間あまりのお話を頂きました。

先生が、県内に倫理法人会が設立される前に新婚旅行の途上本県に立ち寄られたことや、「第 1 回ブナ文化フォーラム」に参加された当時の思い出から、理工系出身で塗料メーカーに勤めている時に「倫理」と出会った体験談から、なぜ今の日本社会の中に「倫理」が必要とされるのか、「人生は出会い」の中から、人・物・自然との関わり、「恩の自覚の程度が人間の程度」（恩とは、「恵みである」と感ずる心、「ありがたい」と感ずる感情、「お世話になりました」と相対する方に感ずる感謝の念）であることの重要性を説かれました。

「千里の道も足下（そっか）に始まる」の老子の言葉を引用され、人との出会い、純粹倫理との出会いを活かし、人生を大きく変えた方々の体験を参考にして、自分自身を、家庭を変えていこうとの呼びかけがあり、身近な環境の中において、改革・改善しなければならない問題点はいくらかでもあり、それらを放置せず果敢に取り組み、社会のためにより素晴らしい働きを日本創生のために行おうと結ばれました。

大変な感動の余韻を残され、6 時前閉会。引き続き場所を移し、先生を囲んだ懇親会が催され、本間利雄県倫理法人会名誉会長の乾杯のもと、県内における「倫理法人会」誕生時のご苦労話や、7 月に予定される「県内企業参加社 1000 社達成！」に向けた活動展開などを話題に、午後 8 時過ぎ、伊藤明彦山形市倫理法人会会長の「右肩上がりの中締め」でお開きとなりました。

